



上田さとし

日本共産党

杉戸町議会議員

地域公共交通・子育て支援・医療の改善・拡充に全力で取り組みます！

ズバリ、わたしたちの主な要望は、右のタイトルにほぼ集約されるのではないのでしょうか。これら切実な要望の実現は、少子化対策にも高齢化対策にも、そして街の活性化にもつながります。加えて私は、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の普及を後押しし、農業の振興や脱炭素化を促進させます。そこで採れた地元産の安全な野菜を学校給食にもっと提供し、食育を推進しながら子どもたちの笑顔をもっと増やします。

プロフィール

- 1962年6月三重県津市生まれ
- 10才からからフレッシュタウンに在住
- 杉戸小学校・杉戸中学校・不動岡高校 関西学院大学卒業
- 旅行会社や個別指導型教育事業の社員を経て、2019年より町議会議員（1期目）
- 総務建設常任委員、議会だより編集委員 埼葛斎場組合議員
- 趣味：沖釣りや魚料理、読書、音楽鑑賞
- 住所：杉戸3000-150
- 連絡先：090-4667-6190
hiramasa1091@outlook.jp

●巡回バスの改善に加え、デマンド交通の導入やタクシー補助の拡大で、地域公共交通を改善します

※「デマンド交通」とは、事前予約制・乗合い・低額（片道300円前後）のワゴンやタクシー。自宅⇄目的地間をドアツードアで移動できるのが特長

●子育て支援で、「3つのゼロ」を実現します

- ①学校給食費の完全無償化を実現します
- ②医療費は、通院分も含め、高校卒業まで無料にします
- ③子どもの国保税の均等割り（1人年4万円）を第1子から無料にします

●総合病院の誘致をすすめます

●再生可能エネルギーの普及と農業の振興を一体で

売電収入の得られるソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の普及を後押しし、農業の振興とゼロカーボンを一体で推進します
公共施設等への太陽光発電システムの設置も推し進めます



大軍拡・大增税 岸田内閣の暴走

ストップ

杉戸町から
「岸田内閣ノ」
の審判を

「敵基地攻撃能力」「軍事費43兆円」「大增税」―岸田首相は、戦後の国のあり方を根底からくつがえそうとしています。
いま、国の政治のあり方が問われています。
日本共産党は、結党以来101年、「反戦平和」をつらぬく党として、この危険な動きにキッパリ対決します。